# 実 施 記 録

機関名　焼津図書館、焼津市立総合病院

| | | | |
|---|---|---|---|
| 企画名 | 講演会「もしがんになったら知っておきたいこと」 | | |
| 開催日程 | 11/29（土） | 参加人数 | 69 名 |
| 参加者の声 | --------- | | |
| メディアで取り上げられた件数 | 0 件 | 掲載内容（記事・URL） | |

- 実施のきっかけ、機関同士が「つながる」きっかけ

  病院で出前講座をしていてがんに関する項目があることを知っていたことや、静岡県地域がん診療連携推進病院に指定されていたため依頼。

- 実施にあたり、大変だった（苦労した）点

  費用面、購入物の確認。

  講師の選定、依頼。

  講師と直接やり取りするすべがない（看護師のため多忙で自席にいない、個人用のパソコンがない）ため、病院の担当課職員を介してやり取りする必要があった。

  事業の周知（記者会見、新聞社やテレビ局への依頼、ポスターやチラシの配架依頼等）。

  参加者の募集。

  会場の選定。

  参加者のニーズは判らなかったので、難しかった。

  資料をわかりやすく作成するにはどうしたらよいかが難しかった。

こういう話は、常に関心を持っている人ばかりではないが、聞いてみると身近なことであったり、興味関心がわくので、いかに入口の敷居を下げてご参加いただけるかが、難しいポイントだと思う。

- 実施して良かった！と思えた点、今後こんなことがしてみたい！と思う点

  病院などの専門機関が行うのではなく、図書館が主体で行うことでハードルが低く、参加しやすい雰囲気があった。

  図書館、病院の PR、市がん関連事業の周知を行えた。

  想定よりも多くの参加があり、よかったと思う。

  ACP について大事な事であり家に持ち帰って考えたいというご意見を頂いて大変うれしかった。

- 実施に向けて機関同士で大事にしてきた点

  お互いに協力して意識の共有を図るようにした。

  図書館、病院ともに市立であり、情報共有や連携がとりやすかった。

- 機関同士での共同企画を行ってみたいと思っている機関へのメッセージ

  早い段階でどういった内容の事業を行うのか擦り合わせすること、相手にとって事業に協力することの利点を伝えることが大切。

# 実 施 記 録

機関名　焼津市立焼津図書館

| | | | |
|---|---|---|---|
| 企画名 | 講演会「緩和ケア医ががんになって～足し算命で気い楽に生きる～」 | | |
| 開催日程 | 12/9（日）14:00～15:30 | 参加人数 | 90 名 |
| 参加者の声 | ------ | | |
| メディアで取り上げられた件数 | 0 件 | 掲載内容（記事・URL） | |

- 実施のきっかけ、機関同士が「つながる」きっかけ

  講師の著書を拝読したことがあり講師依頼を検討していたところ、以前同企画にて長島輪中図書館で講演会をされていたことがわかり、長島輪中図書館のお力添えいただきコンタクトをとった。

  主催者らのお声がけに端を発して、すてきな充実した企画を頂戴しました。

- 実施にあたり、大変だった（苦労した）点

  費用面、購入物の確認。

  講師の選定、依頼。

  参加者の募集。

  会場の選定

  本企画においてほぼすべて主催者側が主導してくださったため、わたくし共は大変だった点は全くございません

- 実施して良かった！と思えた点、今後こんなことがしてみたい！と思う点

  講師の話が上手で面白く、アンケートの感想も大変良かったため、再度講演会を依頼したい。

  いちがん患者・いち医療者として、「がんになっても、あるいは体はしんどくても、気ぃ楽には生きられる」姿をお届けできたと実感してます。焼津市はもちろん、静岡県さらには全国のがん仲間に叶いますならば、わが想いを届けたい。いつでも、どこでも、どんな形でも

- 実施に向けて機関同士で大事にしてきた点

  今回は講師とのやり取りをこまめにすること。

  機関同士お互いの考えを率直にぶつけ合うこと、すなわち忌憚のない対話を重ねることが何より必要だとわたくしは考えます。

- 機関同士での共同企画を行ってみたいと思っている機関へのメッセージ

  市内関係機関とそうでない方それぞれに講師を依頼し、初めての方と講座をやるという大変さもありましたが、良い出会い、機会となりました。積極的に今までかかわったことのない方や機関とつながるのも大切だと感じました。

  共同企画である故に対等であることは無論でしょうが、中身によってはどちらかが主従の「主」となる時があっても良いと思います。お互いの長所・持ち味を生かすために。